

学校評価について

1 第1回委員会

- (1) 日 時 平成29年6月8日 木曜日 15:00~16:30
- (2) 場 所 本校会議室
- (3) 出席者 (計16名)
 - ア 評価委員 (4名)
 - ・大学院教授・小学校校長・同窓会副会長・母の会副会長
 - イ 学校側出席者 (12名)
 - ・校長・教頭(2名)・事務長・教務主任・進路指導主任・生徒指導主任
 - ・保健主任・1学年主任・2学年主任・3学年主任・教務係(記録)
- (4) 会 順
 - ア 授業見学
 - イ 委嘱状交付
 - ウ 開会のあいさつ(校長)
 - エ 出席者紹介
 - オ 学校概要説明
 - (ア) 校長から
 - (イ) 各部・各学年から
 - カ 自己評価項目の確認, 1年生アンケート集計結果報告
 - キ 質問・回答
 - ク 信頼される学校づくりのための委員会
 - ケ 協 議
 - コ 閉会の言葉(教頭)

2 第2回委員会

- (1) 日 時 平成29年11月20日 月曜日 15:00~16:30
- (2) 場 所 本校会議室
- (3) 出席者 (計16名)
 - ア 評価委員 (5名)
 - ・大学院教授・小学校校長・同窓会副会長・母の会副会長・地域住民代表
 - イ 学校側出席者 (11名)
 - ・校長・教頭(2名)・事務長・教務主任・進路指導主任・生徒指導主任
 - ・保健主任・1学年主任・3学年主任・教務係(記録)
- (4) 会 順
 - ア 授業見学
 - イ 開会のあいさつ(校長)
 - ウ 学校概況説明
 - (ア) 平成29年度自己評価(中間評価)集計結果報告
 - (イ) 各部・各学年から——自己評価(中間評価)の集計結果を受けて——
 - (ウ) 学校活性化に向けた取組並びに部活動実績

- エ 質問, 回答
- オ 信頼される学校づくりのための委員会
- カ 協議
- キ 閉会の言葉 (教頭)

3 第3回委員会

- (1) 日時 平成30年1月25日 木曜日 15:00~16:30
- (2) 場所 本校会議室
- (3) 出席者 (計15名)
 - ア 評価委員 (5名)
 - ・大学院教授 ・小学校校長 ・同窓会副会長 ・母の会副会長 ・地域住民代表
 - イ 学校側出席者 (10名)
 - ・教頭(2名) ・事務長 ・教務主任 ・進路指導主任 ・生徒指導主任 ・1学年主任
 - ・2学年主任 ・3学年主任 ・教務係(記録)
- (4) 会 順
 - ア 授業見学
 - イ 開会のあいさつ (教頭)
 - ウ 学校概況説明
 - (ア) 平成29年度学校評価集計結果報告
 - a 自己評価 (最終評価)
 - b 保護者アンケート
 - c 生徒アンケート
 - (イ) 各部・各学年から——集計結果から見た本年度の成果と来年度の課題——
 - (ウ) 学校活性化に向けた取組並びに部活動実績
 - エ 質問, 回答
 - オ 信頼される学校づくりのための委員会——本年度の成果と来年度の課題——
 - カ 協議——さらなる学校改革に向けて——
 - キ 閉会の言葉 (教頭)

4 委員からの主な助言

- (1) 学習指導関連
 - ア 旧来の進路指導で新入試制度に対応できるかどうか疑問である。アクティブ・ラーニング研究指定校としての取組を生かしてほしい。
 - イ 大学でもアクティブ・ラーニングを導入しつつあり, 要約を英語で書かせる指導も始まっている。ただし, 合理性が優先される風潮の中で, ぼやっと考える中から生まれるものや, 一見無駄と思われる時間の中から生まれてくるものも大切にしたいという声もある。
 - ウ 試行調査の数学の問題を見ると, これまで以上に読解力が求められていることが分かる。鹿児島県はセンター試験の得点が依然として低迷している。生徒には新入試制度に対応しうる学力を付けてもらいたい。
 - エ 3年生は卒業まで残りあとわずかとなった。しっかり体力を温存し, 心を安定させて個別試験に臨んでもらいたい。先生方も最後まで温かい指導をお願いしたい。
- (2) 生活指導関連
 - ア 日没が早く, 自転車通学生の黒い制服がドライバーには見えにくい。下り坂では自転車のスピードが速く, 更に危ない。反射板の利用を検討してはどうか。
 - イ 10月に実施された交通教室以後, 子どもが反射板を自主的に付けて登校するようになった。良い話を聴く機会をいただき, 感謝している。

- ウ 発達障害に起因する不登校の割合が全国的に増加している。別室利用の生徒が増えると、チームで動かない限り先生方の負担が増加する。体制づくりが必要だ。
- エ 靴下のワンポイントについて、先生方によって認める範囲に差異があり、生徒が戸惑ったことがあるようだ。服装規程が変わったときは、PTA総会で保護者に分かりやすく説明すべきだ。

(3) 信頼される学校づくり関連

- ア (1年生アンケートの結果を受けて) 保護者の勧めによって本校に入学した生徒が多いことが意外だった。地域からの加治木高校に対する信頼が高いことが分かる。
- イ 加治木高校は勢いのある学校である。進学実績の向上に加え、人間形成にも期待している。保護者も先生方を信頼しているようだ。
- ウ 先生方の指導が行き届いていることを行事をとおして実感する。生徒も素直に指導に応じているようだ。今後も先生方の個性を生かし、指導に当たってほしい。

(4) その他

- ア 「龍門講座」に関しては、各自が受けた講座以外の内容についても知ることができるよう、レジュメ等で生徒に還元するような工夫をお願いしたい。
- イ 南日本新聞社の生活情報誌「ていたいむ」の表紙を飾っている薩摩和紙作品は、本校卒業生の原口敬子さんの手によるものだ。各方面で活躍している先輩の姿を励みに、在校生も一層がんばってほしい。

4 学校評価集計結果 (別掲)

- (1) 職員自己評価 (最終評価) 平成29年12月11日 (月) ~ 12月20日 (水)
全職員対象
- (2) 保護者アンケート 平成29年12月 1日 (金) ~ 12月20日 (水)
PTA役員・学級理事・地区理事対象 回収率 88.2%
- (3) 生徒アンケート 平成29年12月11日 (月) ~ 12月20日 (水)
全校生徒対象 回収率 96.1%



第3回委員会の様子 (その1)



第3回委員会の様子 (その2)